

平成 27 年度 第 3 回運営幹事会 議事録

作井技術委員会 事務局

開催日時:平成 27 年 11 月 19 日(水)16:00~17:30

開催場所:石油資源開発(株) 19 階 1902 会議室

参加者:武村委員長、戸田、日野、田村、工藤、尾上、福嶋、古谷、長縄、木下、片岡(計 11 名)

欠席者:池田、佐藤、前田

議題 1:報告事項

1) 大水深掘削技術分科会

- 10/2(金)に第 20 回会合を開催。参加人数 23 名。

海洋掘削技術の基礎講座(その 2)

講演者:前田 座長

概要:Subsea BOP system の仕組みとコントロール (Emergency Back-up)、海洋石油開発における大水深、超大水深の定義、Dual Gradient system について説明がされた。

2) 若手技術者交流会

- 9/29(火)に第 1 回交流会を実施。参加人数 31 名(13 組織)。

「ちきゅう」大水深科学掘削に携わって

講演者:片岡 翔(石油資源開発)

概要:東北地方太平洋沖地震を調査するため、2012 年に実施された IODP Exp.343 および Exp.343-T を題材に、水深約 6,900m を掘削するために検討した技術課題や懸念点、実際に現場で遭遇した問題をどのように解決したかについて紹介および質疑応答を実施。

- 交流会メンバーのリストを作成した(現在のメンバー総数:37 名)。各組織代表者に新たなメンバーの登録依頼中。次回の開催は、メンバーに直接連絡する。
- 次回交流会は、平成 28 年 1 月に INPEX 本社で開催する予定。

3) 協会ホームページ委員会

- 11/18(水)に会合を実施。参加人数 10 名。

協会ホームページ運営の経緯、ホームページ運営の概要説明、委員会活動の方針、アンケートの実施 等について説明があった。

- シンポジウム講演討論での SNS の利用について、まず交流会や分科会等の小さい集まりでの試験的实施、また情報の機密性が乏しい Facebook や Twitter 等を利用する場合は期間を限定することが会合でリコメンドされた。

現在使用しているホームページに類似した機能があるか、JAPT 事務局がホームページ製作会社に問い合わせ中。

作井技術委員会ホームページにある平成 25 年度以前のページの過去の情報や代表者の連絡先などの個人情報の取り扱いについて運営幹事会に諮った結果、アクセスできないようにリンクを削除するが、有用な情報については現在のホームページに情報を残すことが決定された。

4) 協会理事会および幹事会

- 協会誌印刷費削減の検討状況、石油技術協会賞「奨励賞」「特別賞」の新設
- 平成 28 年度春季講演の日程, 個人講演申込および要旨集の締め切り 等
- 協会誌印刷費削減(印刷所選定)についての経過報告

5) 平成 27 年度 春季シンポジウム原稿編集状況

- 全原稿(5 講演および 4 討論録)の校正は完了。Vol.80 の 5 号に掲載予定。

議題 2:平成 28 年度春季講演会

■ 個人講演

- ・ 質疑応答の形式
 - 今年と同様の形式で開催する(詳細は、第 1 回作井技術委員会議事録を参照)。

■ 作井部門シンポジウム

- ・ 形式
 - 今年のシンポジウムと同様の形態で実施することを確認(詳細は、第 1 回作井技術委員会議事録を参照)。
- ・ テーマ
 - 「低油価」「技術の伝承」をキーワードに各社が取り組んでいるコスト削減、業務効率化、人材育成(技術の伝承) 等、幅広い内容を講演してもらえるようなテーマ名とする。
 - 事務局でテーマ名と趣意書のたたき台を作成し運営幹事に送付、メールで内容を詰めて決定する。

議題 3:その他

- 若手交流会や分科会の開催情報を、今後は協会ホームページのトップの「ニュース」に掲載してもらう。
- 作井技術委員会ホームページ内にある、現在表示を消している HSQE 分科会の枠は、表記を汎用性の高い名前に改めて有効に活用する。

以上